

編集後記

アヴニール労務事務所 所長 柿野元博

電話 (06) 7172-0165

E-Mail avenir4you@gmail.com

〒561-0884 大阪府豊中市岡町北1-7-9

桜の花が散るこの時分になると、新緑が目につきますね。

大阪の御堂筋の銀杏にも、少しずつ緑の葉がついてきました。

新しい自然の息吹を感じるこの時期は、改めて命について考えさせられる季節です。



私ども社会保険労務士の仕事の中には年金に関する手続きがあります。老齢や遺族、そして障害年金。

そのような年金の請求に関する仕事の際には、改めて健康や命の大切さを思い知ります。

以前携わった障害年金の事案では、障害に至る最初の初診日がわからず苦労したことが

ありました。障害年金の請求には、客観的に初診日がわかる書類の添付が必要なのです。

ところが、病院のカルテの保存期間は法令で5年と決まっており、病院で初診日のわかるそれより以前のカルテは破棄されていたのです。

たまたま、会社で受診していた健康診断の診断書が個人宅で見つかり、その書面にあった詳しい検査を勧めた医師の所見が決め手となり、なんとか障害年金の手続きができました。

皆さんも**会社の健康診断等の結果の報告書については、ご自分でずっと保管しておいてください**ね。

万が一の話で恐縮ですが、それが障害年金の受給の決め手になることがありますからね。



さて医療といえば、「STAP（スタップ）細胞」の一件がマスコミをにぎわせています。

理化学研究所は、「STAP細胞」の論文に疑問が指摘されている問題で、万能性を示す画像を「捏造」とし、別の画像も「改竄（かいざん）」があったと報告しました。

素人の私には中身はよくわかりませんが、理化学研究所の小保方晴子さん個人の不正を強調する理化学研究所の態度と、一時はプライベートまで追いつちやホヤしたマスコミの報道の落差には、少し嫌悪感をおぼえます。

とはいえ、研究論文の世界においては発表された論文は、前出のカルテと違って未来永劫残るもの。彼女は那不手際と認識の甘さを、真摯に反省しなければいけません。

私は、自分にその才能が乏しい分、科学者を尊敬しています。

何もないところから創造・生産することや、育てることはとても尊いことです。

一方、なんでも否定していくのは至極簡単なこと。

そしてカベを作って自分の限界を設定して、昨日と同じ毎日で済ませるならずっと楽かもしれません。

新しいことに挑戦することは、それだけで素晴らしいことだと心から思います。

その挑戦する人のいわば象徴的な存在が、私にとっては**科学者**や**トップアスリート**なのです。

（私は、ソチ五輪以来、**浅田真央さん**のますますのファンになりました！（^o^）

しかし挑戦することの尊さは、科学の世界に限ったことではありません。何も若い人に限ったことでもありません。職場の環境や仕事の進め方にも改善すべき事柄が転がっているかもしれません。

そこで大切なのは、**変わることを周りに求めるのではなく、自分自身を変えよう**とすること。

それが、真の「挑戦」ということではないかと思えます。

今回の騒動で、若い挑戦者の芽が摘まれることのないよう、そして今まさに逆境にある小保方さんが、真の挑戦者であることを願っております。

がんばれ、小保方さん！そして、職場の改善に取り組むすべての挑戦者のみなさん！

ほんじゃ、
所長も減量に
挑戦すれば...

misako

(^_^) ギャ!

